



森や木に関わるスペシャリストを育成する専門学校

岐阜県立森林文化アカデミー

GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE



森と木のエンジニア科

高校卒業程度対象



林業・木材産業で働く技術者をを目指す

森と木のエンジニア科

森と木のクリエイター科

大学卒業程度または実務経験者対象



林業経営・環境教育の専門家をを目指す

森林利活用分野



木造建築・木工の専門家をを目指す

木材利用分野

岐阜県立森林文化アカデミーは、森林や木材に関わるさまざまな分野で活躍する人材を育成することを目指して設立された、2年制の専門学校です。

森と木のエンジニア科は、高校卒業程度の方を対象とし、**林業**や**木材加工**の現場で働く技術者を育成します。

森と木のクリエイター科は、大学卒業程度または実務経験を持つ方を対象とし、**林業**、**森林環境教育**、**木造建築**、**木工**などの分野で指導的な役割を担う専門家を育成します。

岐阜県は日本で2番目の森林率を誇り、土地面積の82%を超える山村を抱えています。そうした県土の特性から、森林の多目的公益性、存在効用と利用効用の両面にわたり、研究・教育・実践を行おうとするのが本学の狙いです。森林から山村、里山から都市に至るまでの人々と森林の関わり、森林と林業家の双方にとり安全であり健全、そして合理的な経営への技術・技能と経済学的な視点、木質系資材とその利活用のためのデザインなど、山元から加工・流通、そして利活用に至るまで網羅的でありながら体系的知識と実践が学べるキャンパスといつてよいでしょう。少数精鋭、教員とほぼ1対1で森林・林業の課題と各々の未来を語り、専門職大学院レベルから技術専修に至るまでを一貫して学べる我が国唯一の学び舎です。

さらにドイツ・ロッテンブルク大学との交流が2014年度より本格的に始まり、学生レベルに至るまで、双方の往来が本格化しています。本学の教育とその成果を、皆さんと共に未来へ、そして我国のみならず世界に発信していこうではありませんか。



岐阜県立森林文化アカデミー
学長

涌井 史郎 (通称:雅之)

造園家。2003年 日本国際博覧会(愛・地球博)会場演出総合プロデューサー、2013年 第39回全国育樹祭総合アドバイザーなど歴任。国・地方公共団体の各種委員会委員、委員長などを務める。テレビ出演等多数。



森と木のエンジニア科

高校卒業程度対象 2年制 定員 20人

森と木のエンジニア科では、現場で自ら行動できる技術者の育成を行っています。



造林・育林

森林の将来像をイメージしながら、森林を適切な状態に管理・育成します。



伐採・搬出

林業や木材産業の現場で、安全を確保しつつ、より経済性の高い生産を担います。



木材加工

地域の木材を製材・加工し、流通販売を担います。

学びの特色

- 豊富な実習と隣接する33haの演習林……すぐそこに実践フィールドがあり、林業の一連のサイクルを間近で学び、体験できます。
- 最新の林業機械や木材加工設備……これからの林業に欠かせない高性能林業機械を操作します。製材や乾燥施設も学内にあります。
- 充実した企業研修……2度にわたるインターンシップを経て、希望する進路を明確にします。

就職・進学

岐阜県内を中心に、林業、製材、木材加工、造園、建築などの業界に就職しています。

- 林業関係……森林組合や林業事業体
- 森林・造園関係……造園会社、リサイクル会社、木質バイオマス関連会社
- 建築・建設・木工関係……設計会社、工務店、木工会社、薪ストーブ販売会社
- 官公庁……岐阜県庁など都道府県の林野行政部門、森林管理局、地方整備局

また、試験を経てクリエイター科への進学や、4年制大学の3年次への編入ができるのも特徴です。

- 大学編入……岐阜大学、山形大学、愛媛大学、島根大学、宇都宮大学、信州大学、新潟大学など

取得可能な資格一覧 (クリエイター科でも取得可能) ※は希望者が有料にて受講

- 安全衛生教育修了証……刈払機取扱作業者
- 特別教育修了証……伐木等の業務、伐木等機械運転、走行集材機械運転、簡易架線集材装置等の運転、機械集材装置の運転
- 講習修了証……林業架線作業主任者
- ※免許……大型特殊
- ※技能講習修了証……車輛系建設機械(整地等)、不整地運搬車、玉掛、小型移動式クレーン、フォークリフト



森林利活用分野

…林業・森林環境教育

森林利活用分野では、総合的な森林経営、森林空間をフィールドにした環境教育の専門家を養成しています。

森には、木材生産、生物多様性保全、環境保全、水源涵養、災害防止、保健・レクリエーション、文化・教育などたくさんの機能があります。これら森が持つ多面的な機能を活用していくことは、地域社会を活性化し「森からはじまる持続可能な社会」の構築につながります。

学びの特色

林業経営の事業プラン立案に欠かせない、地域の問題を抽出する洞察力、解決するための創造力、周囲を巻き込む企画力を培います。また林業経営の課題に気づくために現場を視察し、森林施業を正しく知るために作業を体験し、実効性ある提案力を養います。

空間としての森が持つポテンシャルを活かし、森と人をつなぐ活動をするために、木育や森林環境教育の現場を通して学びます。

就職・起業

林業や森林環境教育・木育の業界に就職し、以下のような役割を担っています。また、起業する人も少なくありません。

- 地域や経営体の森林が目指す姿を示し、森林施業の中・長期的な計画を立案する
- 様々な現場と目的に応じた木材の生産・販売・流通を分析し、適確な仕組みを構築する
- 木材生産だけでなく空間利用も視野に入れた森林経営をする
- 自然学校や森のようちえんなど森林空間を舞台に環境教育や木育を実践する
- 森からはじまる持続可能な暮らしをデザインし、実践しながら人々に伝えていく



木材利用分野

…木造建築・木工

木材利用分野では、木造建築、木工など、木材利用の専門家の育成を行っています。

木材は、昔から工芸品、家具、木造建築などに利用されてきた伝統的な素材であるとともに、再生可能で地球環境に負荷を与えないため新たな役割が期待される素材でもあります。暮らしに木を活かすことは、森林の健全な育成や、地域文化の継承と発展にもつながります。

学びの特色

木造建築のイロハを実践から学ぶため、学内に小さな建物を設計し、職人さんの助けも借りて木材を加工し、自力建設します。また木造住宅は新築から改修が主流になる中、最先端の改修技術や知識を学びます。構造、温熱、耐久性などをバランスよく理解します。木工では道具の使用法、小物や家具などの制作技術を身につけるほか、伝統工芸やデジタルファブリケーションなど多様な技術にも触れます。公共施設のオリジナルグッズを学生がデザインし、地域の木材で制作するなど、企画力・実践力を養います。

就職・起業

木造建築や木工の業界に就職し、以下のような役割を担っています。また、起業する人も少なくありません。

- 地域資源を活用し、建築と暮らしの関係を考慮した木の空間を提案する
- 木材などの特質を生かし、環境・文化に則した建築物を設計・提案する
- 地域の森から出る材料を生かして暮らしをよりよくなる木製品の企画・デザインや制作を行う
- 地域文化や伝統技術を評価し、継承のための新たな枠組みを構築し、実践する



森や木の仕事をめざすなら今がチャンス！ 岐阜県緑の青年就業準備給付金

将来、林業分野※へ就業し（就業時年齢45歳未満）、中核を担うことに強い意志を持っている方に対して、就業に向けた研修期間中、1年間に上限150万円（最大2年間）を準備金として給付する制度があります。在学中はお金のことを心配せず、安心して学ぶことができます。

※林業分野：森林組合、林業事業者、製材工場、木材・木製品製造業など



グローバルに学び、働きたい人に ドイツ・ロッテンブルク大学と連携

森林文化アカデミーでは、ドイツ・ロッテンブルク林業単科大学との間で林業分野における教育・人材育成、研究開発に関する連携覚書を締結しました。すでに教員や学生の交流も始まっています。ドイツの最先端の林業を学びたい人や、林業分野で東西の架け橋となってグローバルに働きたい人に、道は開かれています。



学内で教員と話したり、学びを体験するなら… オープンキャンパス、森と木のオープンカレッジ

定例のオープンキャンパスは毎年7、8月に開催しています。教員による詳しい教育内容の説明や在校生とのトーク、何でも相談などがあります。11月の学園祭でも学校見学ができるほか、随時見学も受け付けていますので、直接アカデミー事務局にお問合せください。森林文化アカデミーの学びを体験したい方は、森と木のオープンカレッジがオススメです。森や木に関わる様々な講座を一般の方向けに提供しています。これらの講座への参加を通じてアカデミーへの入学を決めた方もたくさんいます。



入学を決意したら… 入試案内

エンジニア科・クリエイター科とも、11月から3月まで5回の入学試験の機会があります（平成27年度実績）。ただし、1月の入試までに定員に達した場合は3月の入試は行われませんのでご注意ください。エンジニア科は個別面接と作文（800字程度）、クリエイター科は個別面接と小論文（800字程度）です。最新の情報はウェブサイトでご確認ください。



もっと詳しく知りたいなら… 森林文化アカデミーウェブサイト・ブログ・facebook

全国の森林・林業系の学校の中で圧倒的な情報発信量と評判の森林文化アカデミー。毎日の実習の様子やイベント情報などを、教員や学生たちがブログやfacebookにつづっています。学校の雰囲気や学びの内容を知りたい方は、ぜひアクセスしてみてください。<http://www.forest.ac.jp>（ブログやfacebookへのリンクもあります）



岐阜県立森林文化アカデミー

501-3714 岐阜県美濃市曾代88
TEL 0575-35-2525 / FAX 0575-35-2529
メールアドレス info@forest.ac.jp

清流の国ぎふ憲章

～豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知 清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます
創 ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます
伝 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます